



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,331	△6.7	85	6.9	84	7.5	142	84.5
28年3月期第1四半期	1,427	3.2	79	△11.7	78	△10.4	77	△13.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 117百万円 (65.9%) 28年3月期第1四半期 70百万円 (50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	9.58	—
28年3月期第1四半期	5.19	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	22,935	10,372	45.2	696.85
28年3月期	22,958	10,255	44.6	688.97

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 10,361百万円 28年3月期 10,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	△1.8	110	△19.1	100	△22.5	170	49.1	11.43
通期	5,600	2.2	160	8.1	150	7.9	210	60.3	14.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	15,000,000株	28年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	131,597株	28年3月期	131,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	14,868,719株	28年3月期1Q	14,869,295株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,331百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は85百万円（同6.9%増）、経常利益は84百万円（同7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は142百万円（同84.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

## [鉄道事業]

旅客部門におきましては、「わくわく鉄道フェスタ」の開催や同業他社と協力したハイキング等を実施いたしました。また、SL列車におきましては、関係団体の協力のもと各種イベントを企画するなど積極的な旅客誘致に努めたことにより、前年同期に比べ定期外旅客人員は増加いたしました。一方、沿線の就学人口の減少等により定期旅客人員は減少し、旅客収入は前年同期に比べ減収となりました。

貨物部門におきましては、輸送量が減少したことに伴い貨物収入は前年同期に比べ減収となりました。

営業費用は、電力料金が値下がりしたことに加え、電力使用量の抑制など経費削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は851百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は26百万円（同96.5%増）となりました。

## [不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸物件の入居優遇キャンペーンや広告媒体を活用したことにより賃貸収入は前年同期に比べ増収となりましたが、分譲地販売及び請負工事収入は前年同期に比べ減収となりました。

この結果、営業収益は83百万円（前年同期比40.9%減）、営業利益は40百万円（同5.8%減）となりました。

## [観光事業]

観光事業におきましては、長瀨への誘客を促進するため旅行者への営業活動を強化いたしましたが、ゴールデンウィーク期間後半の来客数が伸び悩み減収となりました。

この結果、営業収益は94百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は5百万円（同63.2%減）となりました。

## [バス事業]

バス事業におきましては、運行回数が減少し、使用燃料の削減等経費圧縮に努めましたが、営業収益は115百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は15百万円（同26.3%減）となりました。

## [その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は284百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失は4百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し22,935百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、99百万円増加し1,673百万円、固定資産は122百万円減少し21,262百万円となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金、受取手形及び売掛金、繰延税金資産がそれぞれ増加したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は有形固定資産及び投資有価証券がそれぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し12,562百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ113百万円減少し3,407百万円、固定負債は26百万円減少し9,154百万円となりました。流動負債減少の主な要因は賞与引当金及びその他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金及び繰延税金負債がそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し10,372百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の決算短信で公表いたしました内容から修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成28年8月10日）公表いたしました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	948,299	995,184
受取手形及び売掛金	185,225	298,680
分譲土地建物	136,806	136,806
商品及び製品	28,779	28,883
原材料及び貯蔵品	95,418	98,435
繰延税金資産	—	49,187
その他	180,320	71,591
貸倒引当金	△1,181	△5,559
流動資産合計	1,573,669	1,673,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,775,699	13,775,489
減価償却累計額	△9,365,781	△9,407,384
建物及び構築物（純額）	4,409,917	4,368,104
機械装置及び運搬具	4,885,564	4,885,564
減価償却累計額	△4,280,570	△4,311,254
機械装置及び運搬具（純額）	604,994	574,310
土地	15,566,133	15,566,133
その他	654,908	654,326
減価償却累計額	△587,266	△590,504
その他（純額）	67,642	63,822
有形固定資産合計	20,648,687	20,572,370
無形固定資産		
投資その他の資産	79,892	74,026
投資有価証券	613,803	573,633
繰延税金資産	3,353	3,238
その他	59,594	60,253
貸倒引当金	△20,773	△21,414
投資その他の資産合計	655,979	615,710
固定資産合計	21,384,558	21,262,108
資産合計	22,958,227	22,935,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,156	131,849
短期借入金	1,133,498	1,220,000
1年内返済予定の長期借入金	1,199,979	1,201,153
未払法人税等	31,200	14,163
未払消費税等	53,553	78,443
繰延税金負債	220	—
賞与引当金	196,301	115,828
その他	734,410	646,431
流動負債合計	3,521,320	3,407,869
固定負債		
長期借入金	2,439,561	2,415,848
繰延税金負債	162,402	132,088
再評価に係る繰延税金負債	4,554,400	4,554,400
退職給付に係る負債	1,839,544	1,858,954
特別修繕引当金	83,200	88,400
長期預り金	102,587	105,290
固定負債合計	9,181,695	9,154,981
負債合計	12,703,015	12,562,851
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,915	21,916
利益剰余金	△842,409	△700,021
自己株式	△28,412	△28,428
株主資本合計	△98,906	43,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371,909	343,646
土地再評価差額金	9,984,234	9,984,234
退職給付に係る調整累計額	△13,377	△10,241
その他の包括利益累計額合計	10,342,766	10,317,639
非支配株主持分	11,351	11,360
純資産合計	10,255,211	10,372,466
負債純資産合計	22,958,227	22,935,317

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業収益	1,427,196	1,331,492
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,005,802	915,468
販売費及び一般管理費	341,608	330,741
営業費合計	1,347,410	1,246,209
営業利益	79,785	85,283
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	7,059	6,914
土地物件貸付料	3,675	3,234
助成金収入	150	—
その他	4,020	3,709
営業外収益合計	14,910	13,866
営業外費用		
支払利息	14,849	12,730
その他	1,195	1,884
営業外費用合計	16,044	14,615
経常利益	78,651	84,535
特別利益		
固定資産売却益	1,729	—
工事負担金等受入額	—	10,340
補助金受入額	100	226
その他	—	934
特別利益合計	1,829	11,500
特別損失		
固定資産圧縮損	—	11,274
特別損失合計	—	11,274
税金等調整前四半期純利益	80,481	84,761
法人税、住民税及び事業税	3,149	10,063
法人税等調整額	119	△67,707
法人税等合計	3,268	△57,643
四半期純利益	77,212	142,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,185	142,387

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	77,212	142,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,632	△28,271
退職給付に係る調整額	3,110	3,135
その他の包括利益合計	△6,522	△25,135
四半期包括利益	70,690	117,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,667	117,260
非支配株主に係る四半期包括利益	23	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	876,984	139,701	99,034	117,984	1,233,705	193,490	1,427,196	—	1,427,196
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,191	1,656	218	267	6,332	90,494	96,827	△96,827	—
計	881,175	141,357	99,252	118,252	1,240,038	283,984	1,524,023	△96,827	1,427,196
セグメント 利益又は損 失(△)	13,517	42,770	14,857	20,369	91,514	△14,092	77,422	2,363	79,785

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整2,363千円には、固定資産未実現損益の消去額341千円、セグメント間取引消去2,022千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	848,061	81,949	94,096	114,988	1,139,095	192,396	1,331,492	—	1,331,492
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	2,999	1,656	130	837	5,623	92,467	98,090	△98,090	—
計	851,060	83,605	94,227	115,825	1,144,719	284,864	1,429,583	△98,090	1,331,492
セグメント 利益又は損 失(△)	26,565	40,277	5,463	15,007	87,314	△4,793	82,520	2,762	85,283

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整2,762千円には、固定資産未実現損益の消去額376千円、セグメント間取引消去2,386千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	1,413	1,437	△1.7
	定期外	〃	744	740	0.5
	計	〃	2,157	2,178	△0.9
貨物トン数		千トン	453	500	△9.5
旅客収入	定期	百万円	195	201	△2.9
	定期外	〃	315	315	△0.1
	計	〃	511	517	△1.2
貨物収入		〃	272	296	△8.1